

数理解析研究所講究録 1064

# 数学史の研究

京都大学数理解析研究所

1998年10月

数学史の研究  
Study of the History of Mathematics  
研究集会報告集

1998年 5月11日～ 5月12日

研究代表者 竹之内 脩(Osamu Takenouchi)

目 次

1. Volterra と H. J. Smith の論文に見られる、その導関数が Riemann 積分 可能でない関数の古典例について-----	1
鹿児島大・理 小柴 洋一(Yôichi Koshiba)	
2. On the space problem of Helmholtz -----	6
津田塾大 杉浦 光夫(Mitsuo Sugiura)	
3. 古典変分解析より確率場の変分へ-----	15
名城大・理工 飛田 武幸(Takeyuki Hida)	
4. カルダノの確率研究について-----	25
桃山学院大・経済 安藤 洋美(Hiromi Andoh)	
5. 天理本「算用記」について-----	41
大阪産業大 田村 三郎(Saburo Tamura) 関西電力株式会社 下浦 康邦(Yasukuni Shimoura)	
6. 関孝和の楕円の研究について-----	63
前橋工科大・工 小林 龍彦(Tatsuhiko Kobayashi)	
7. 「近代数学」と学校数学 - 数学の普及の歴史から-----	75
公田 藏(Osamu Kota)	
8. 数学史は数学教育に役立つか - ICMI Study Meeting, Luminy, France, Apr. 20-25, 1998 報告-----	92
放送大学 長岡 亮介(Ryosuke Nagaoka)	
9. 数学史をいかに数学教育に活すか? - 随想と提言 - -----	108
東京電機大・理工 一松 信(Sin Hitotumatu)	
10. スピノーザの無限とカントルの超限-----	114
村田 全(Tamotsu Murata)	
11. 建部賢弘の極値計算について-----	129
四日市大・経済 小川 束(Tsukane Ogawa)	
12. 関孝和の解伏題之法について-----	148
大阪国際大 竹之内 脩(Osamu Takenouchi)	
13. バビロニアの数学----楔形文字で書かれた古代数学-----	160
河合塾・文理 室井 和男(Kazuo Muroi)	